

嚴浩會長が日本中華總商会迎春会で新年挨拶：承啓未来

1月19日昼、一般社団法人日本中華總商会が主催する2018年年頭祝賀「迎春会」が帝国ホテル光の間で行われ、在日華僑・華人企業家を代表して中国大使館、日本政府、経済界、友好団体などの貴賓を招待し交流を行い、共に新春を祝いました。嚴浩会長は来る總商会創立20周年を迎えるため、“一致団結、承啓未来”のビジョンを披露しました。

当日、在日本中国大使館郭燕公使、日本経済産業省通商政策局東北アジア課星野光明課長、外務省アジア大洋州局中国モンゴル第二課黒石亮首席事務官、その他日本商工会議所、経済同友会、日中経済協会、日中友好会館、日本中国文化交流協会、在日中国企業協会、東京華僑總會等経済団体、日中友好団体、在日華僑華人団体の代表および日本中華總商会会員約220人が出席されました。



祝辞を述べた日本中華總商会嚴浩會長

嚴浩会長は祝辞の中で長期に亘り總商会をご支援ご支持くださった各界の皆様へ感謝を申し上げ、また中国安徽省への考察団派遣、ミャンマーで行われた第十四屆世界華商大会に代表団を組んで参加した昨年の總商会活動をご紹介しました。

郭燕公使は挨拶の中で在日華僑・華人企業家達に新年の祝福を送られ、中日平和友好条約が締結40周年に当たる今年に、中華總商会がより一層発展し、中日両国の各分野での協力において貢献してほしいとの期待を述べられました。

星野光明課長は挨拶の中で日中両国が近年経済貿易の面において非常に良い趨勢を保っており、在日華僑・華人企業家にこの機会を旨く掴み、両国の経済発展に貢献してほしいと述べられました。

日本中華總商会は在日最大の華僑・華人経済団体であり、在日華僑・華人企業同士の協力お

よび中国資本企業ならびに日本企業との交流の促進、世界各地の華人組織との提携により、会員企業および地域経済の発展に貢献することを目的としています。迎春会は日本政治経済社会など各界との交流のために、總商會が毎年開催する恒例行事です。



ご多幸を祈願して行われた鏡開き



迎春會會場

益新集團広報渉外チーム

2018年1月22日